



スポーツの力で日本を元気に！

チャレンジデー

健康づくりでまちづくり ～ 深めよう三好の絆 ～



チャレンジデーは、毎年5月の最終水曜日（今年は5月30日）の午前0時～午後9時までの間に、15分以上スポーツや運動をした人の参加率を、人口規模がほぼ同じ市区町村同士で競い合うイベントです。今年「健康づくりでまちづくり」深めよう三好市の絆をスローガンに、秋田県男鹿市と対戦相手しました。当日市内では、朝から夜まで老若男女が様々なスポーツで体を動かし、1万7257人がチャレンジデーに参加しました。市民一体となって取り組んだ結果、三好市の参加率は56・3%、男鹿市は40・2%で、見事勝利しました。また、参加率に応じて授与される金メダル（参加率50%以上）も獲得することができました。なお、毎月第4水曜日を、三好市チャレンジデーと設定しています。

「月第4水曜日は、チャレンジデー」を合言葉に、健康意識を高め、明るい生活を送りましょう。

ロンドン五輪トライアスロン男子日本代表 細田雄一選手の三好市壮行会を開催します

どなたでも参加できますので、お誘い合わせのうえ、ご参加ください。

日時 6月30日（土）10時～11時（受付9時30分～）

場所 池田小学校体育館

お問い合わせ先

細田雄一選手三好市壮行会実行委員会（池田総合体育館内 ☎ 72-5755）

細田雄一選手に
熱いエールを
お届けください！！



船井哲良氏に名誉市民の称号を贈呈

5月26日、池田総合体育館において、市制施行後第1号の名誉市民となった船井哲良船井電機株式会社社長（85歳）をお迎えし、名誉市民称号贈呈式が行われました。会場には、船井さんをお祝いしようと、およそ450人の市民が集まりました。

船井さんは、昭和36年に大阪で船井電機株式会社を創業し、日本を代表する企業の経営者として活躍される一方、奨学会や情報科学の振興財団を設立して人材育成や産業振興に貢献され、市へのふるさと納税を通じて地域振興にも協力いただきました。

式典では、市長より「三好市の大いなる誇りであり誉れである」と心より敬意と感謝を込め、名誉市民証と称号のメダルが贈呈されました。船井さんは、「称号に恥じない行動をしていく」と感謝の気持ちを述べられました。

式典後の講演では、太平洋戦争末期の昭和20年3月、両親の故郷に近い三好郡三野町（現三好市）に疎開し、青年

三好市は、三好市名誉市民条例、第一条で、「本市に特別縁故の深い者で、社会の進展、学術文化の興隆に貢献し、その事績特に顕著なものに対し、その榮譽をたたえ、功績を顕彰する」ことを目的とし、第二条で、「市民が郷土の誇りとし、かつ、尊敬に値すると認める者には、「三好市名誉市民」の称号を贈る」ことを規定しています。

学校の代用教員として過ごした二年間を懐かしみながら、どんな困難な時にも夢と志を持ち続けることの大切さを熱く語られました。

また、市が交流拠点施設を計画する池田町マチの旧池田工場跡地を2年以内に市に寄贈する意向を表明されました。

なお、当日式典において配布しました著書「四十歳で五つの会社の社長になる」は、船井様よりご提供いただきました。